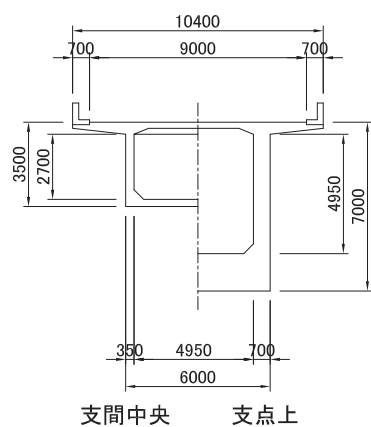
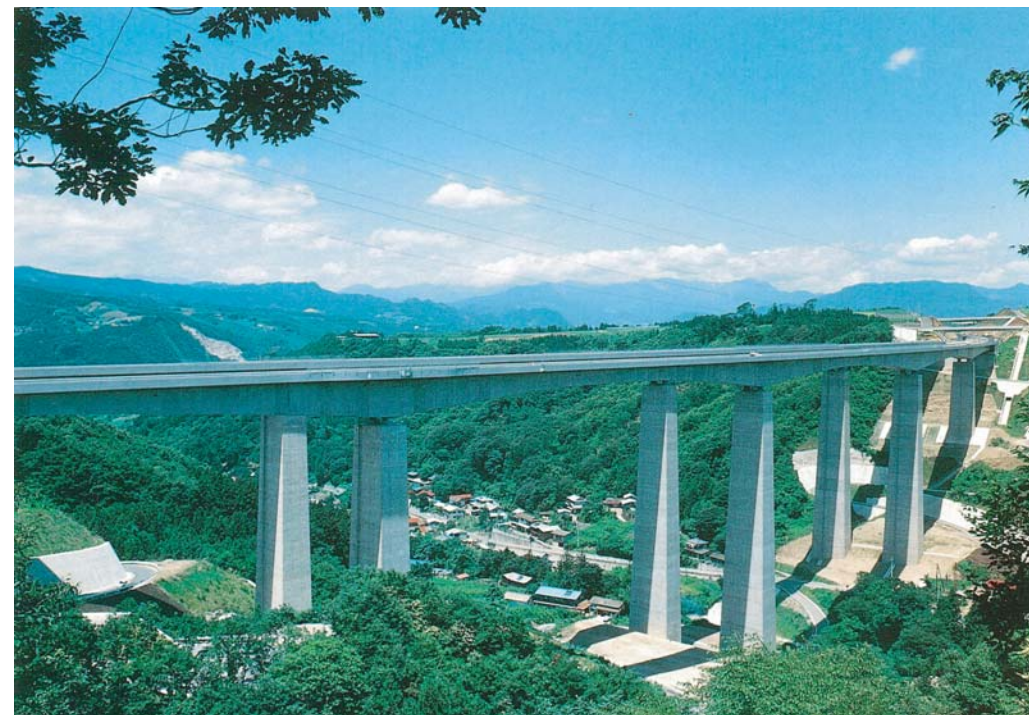


# 永井川橋

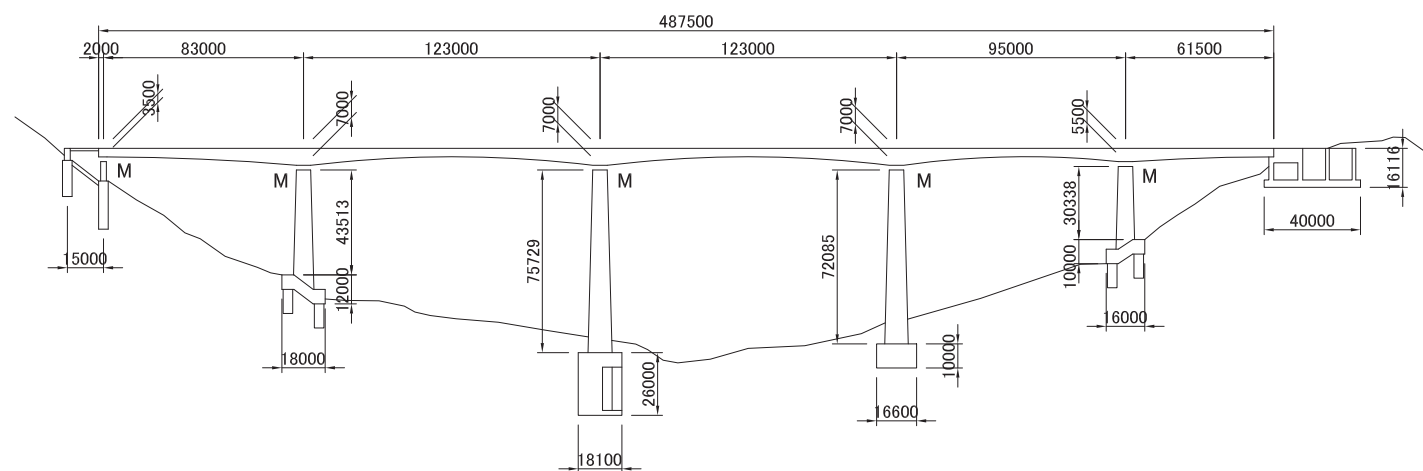
Nagai River Bridge

永井川橋梁は、東京と新潟を結ぶ関越自動車道のほぼ中間部、赤城山麓の中腹に建設された高橋脚長大橋梁群の1つです。このうち片品川橋（鋼3径間連続トラス3連）、沼尾川橋（鋼6径間連続箱桁）、永井川橋（PC5径間連続箱桁）の3橋はいずれも各橋脚に60m級の高橋脚を有し、最大支間100mを超える多径間連続桁という、まれにみる規模の橋梁としてその姿を上越路に現しています。

橋種(活荷重)	一等橋(TL-20, TT-43)
構造形式	PC5径間連続桁橋
橋長	487.5m
最大支間	123.0m
施工法	場所打ちカンチレバー工法
定着方法	ディバダーク工法
所在地	群馬県利根郡昭和村
発注者	日本道路公団
完成年	1984年
工費	総工費 7,959,000(千円)
昭和60年度 土木学会田中賞 作品部門受賞作品	



断面図



側面図